

授業科目(ナンバリング)	国際観光論(CA212) (実践的教育科目)			担当教員	大井田 かおり (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の 類 型
海外に出た日本人観光客も、訪日した外国人観光客も、文化習慣の違いを楽しみかつそれに戸惑う。日本人を外国へ引率する側が外国文化を熟知していなければ、日本人の評判の低下という国際問題に発展しかねない。また日本人が外国人の考え方を先取りする形で対応しなければ、訪日外国人観光客との間に摩擦や誤解が生じ、反感に発展しかねない。また、文化によって興味も異なる。ここではアウトバウンドおよびインバウンドにおける問題を、文化や考え方の違いから考察する。							①⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	異文化の人の間に入り、両者が納得する形で観光を展開するための説明ができる。文化の違いを活用した観光戦略を立てることができる。				・定期試験 ・課題レポート	25% 25%	
情報収集、分析力	文化の違いで生じる摩擦や興味の異なりを予測分析するだけの情報を収集できる。				・授業態度・授業への参加度	20%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	文化の多様性をふまえた観光展開案を提出することができる。				・定期試験	30%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験(55%)、課題レポート(25%)、授業態度等(20%)により、総合的に評価する。課題レポートは第7回までに提出すること。課題は指定図書について論じる問題と、授業中のトピックを取りあげて論じる問題となる。課題についてのフィードバックは、授業中に行う。							
授 業 の 概 要							
例えば旅行業者の場合、アウトバウンド観光において、海外ツアー参加者が自国民の評判を下げることなく、むしろ自国民の評判を上げるかたちにして旅行を終えるような段取りをしなくてはならない。また、インバウンド観光において、日本を訪れる海外からの観光客に楽しんでもらうだけでなく、日本人との間で摩擦が起きないように、文化の違いを楽しんでもらうよう段取りできなくてはならない。そうした観光計画を立てることが可能になるための基礎力を養う。海外添乗員経験のある担当者の経験をふまえた授業である。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：特になし 参考書：青木保『異文化理解』岩波新書 指定図書：内田宗治『外国人が見た日本―「誤解」と「再発見」の観光150年史』岩波新書							
授業外における学修及び学生に期待すること							
日本人学生は積極的に外国人留学生と交流を持つこと。外国人留学生は日本人学生のみならず、母国以外の留学生とも積極的に交流を持つこと。そして、様々な話題で議論することで、学習に深みが出る。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイドンス	アウトバウンド観光とインバウンド観光の現状について学ぶ。	『観光白書』アウトバウンドおよびインバウンドの項目に目を通しておく。
2	観光客が起こす文化摩擦の問題	グランド・ツアーをはじめとした観光客が自国の評判を下げた例について学ぶ。	観光客が現地の人々に与えるイメージについて考察しておく。
3	水不足の国への海外旅行	日本人観光客が最も問題を起こす可能性が高い水不足の国や地域への観光について考える。	水不足の国にありがちな考え方について考えておく。
4	時間の観念が異なる国への海外旅行	サービスは速度を伴うものと考えがち日本人がいらつく可能性が高い国への観光について考える。	時間観念の違いが文化にどのような影響を与えているかを考えておく。
5	海外の食事についての先入観	トルコにトルコライスはない。天津に天津飯はない。ロシアでロシアンティーは飲まない。食事への先入観とそれに伴うトラブルを考える。	食事のイメージが現地と異なる例を挙げておく。
6	海外の宗教習慣	宗教はその人々が最も大事にしているものなので、それをないがしろにしているように見えてはいけない。現地の人々の反感を買わないための作法を考える。	海外の宗教施設に入場する際の習慣を調べておく。
7	様々な習慣の違い	日本人観光客が外国で起こしやすいトラブルの例を挙げ考察する。	配布資料を読んでおく。
8	訪日外国人に先に説明しておくべき日本の文化習慣	ちょっとした説明で防げる外国人への誤解の例を考察する。	外国人の行動を見て驚いた例を挙げ、その解決方法を考えておく。
9	Google を使った英語検索と英作文	Google を使った英語検索と英作文について学ぶ。PCを持っている人は持参する。	街中で英語表記があればいいと考えられる場所を検討しておく。
10	外国語翻訳について	未学習の言語でも現在はある程度翻訳が可能である。その方法を学習し、看板やメニューの翻訳について考える。	街中で外国語の表記が必要と思われる場所をチェックしておく。
11	非言語コミュニケーション	言葉の通じない外国人とのコミュニケーションについて考える。	言葉の通じない外国人とコミュニケーションを取るにはどうしたらいいかを考える。
12	外国人から見た日本の魅力1	外国人から見た日本人の魅力について考察し、案内について考える。	外国人から見た日本の魅力を挙げておく。
13	外国人から見た日本の魅力2	前回の考察をふまえ、外国人を実際に日本で案内するコースを考える。	訪日外国人の旅行プランを考える。
14	日本人が気付かない外国人にとっての日本の観光資源	日本人が看過しているけれど、外国人にとっては観光資源となりうるものについて考察する。	日本人にとっての意外な観光地を調べておく。
15	まとめ	国際観光における未来の展望を考える。試験の準備をする。	試験準備
16	定期試験	筆記試験	筆記試験の準備